



Rotary Weekly



広島空港ロータリークラブ週報

2023年3月15日発行

会長 河井一郎 / 副会長 小島勘次 / 幹事 谷本佳弘 / SAA 兼田昌紀

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

2022-23年度
国際ロータリーテーマ

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

3月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
例会 例会 例会 休会 休会

本日のプログラム (3月15日)

熊谷 祐司 会員
「コンピュータこぼれ話」

次回のプログラム (4月5日)

花見例会 (例会場で食事後 13時から三景園へ)

第1257回 2023年3月8日 例会記録

点 鐘 河井会長

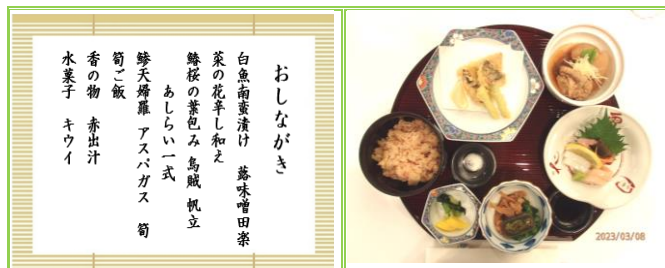
ロータリーソング「奉仕の理想」

ロータリアンの行動規範唱和

出席報告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (3/8)	27 1	16 0	1	5 5	77.27
メイク	小島				

食事時間



会長から一言

年度末ということで皆様におかれましては公私共にお忙しいかと存じます。私も完成検査、引き渡し等でバタバタしており先週は欠席となりご迷惑おかけしました。ここにきてようやく春らしい気候となり、日中は過ごしやすくなりましたが、まだまだ朝晩と冷え込みますので体調には気を付けてください。



いま、テレビではWBC、大谷翔平の話題で持ちきりですが、我がクラブとしても、ガバナー杯が目前に

迫りました。先日、3年ぶりにボールを投げてみたものの、3日間の筋肉痛となりましたので練習を行いたいところではありますが、練習場所を確保するのが難しいです。とはいえ皆さん、しっかりとウォーミングアップはしておいてください。何年前かに森崎さん宅の広大な敷地内で練習したのを思い出しましたが、可能であれば、お願いしたいと思います。

終わりになりますが、本日は次年度創立30周年記念行事、空港フォーラムなどの協議会となります。まだ時間はありますが、皆さんとしっかり協議を重ねていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

幹事報告

鶴田幸彦 副幹事

《配布物》週報1256号・クラブ協議会資料

《回覧》出欠確認

- ・ 今後の例会・IM・ガバナー杯
- ・ ゴルフ同好会より 4/16ゴルフコンペ

卓話時間

クラブ協議会



「創立30周年・第25回全国空港RCフォーラム
同時開催について」

会員紹介コーナー

藤川 清 会員



- ◆ **職業分類** 機械部品製造
- ◆ **事業所名（役職名）** 三興スプリング 株式会社 （取締役社長）
- ◆ **座右の銘** 神は細部に宿る
- ◆ **職業奉仕にあたって大切にしていること（モットー等）**
スプリングはあらゆるところに使われています。
(弊社は主に、鉄道車両のエアーブレーキ関係のばねから産業機械のばね等々を製作しています。)
見た目はシンプルなものが多いのですが、多くの知識、技術が、凝縮されています。
シンプルイズベスト。これらを継承して、多くの需要に応えていけるよう努めています。
- ◆ **近況報告**
77年スプリング製作一筋、今も一筋、これからも一筋。
宜しくお願い致します。

ロータリーの友3月号より

TABLE SPEECH

自給率を考えると、まず押さえておきたい数字が、人口動態です。2021年の出生数は約81・1万人、22年は約77・1万人（見直し）と、ここ数年最少を更新しています。一方、死亡数は、21年は約143万人で20年より約6万人増加し、出生数と死亡数の差である自然増減数は約62万人の人口減少となりました。

続いて知っておきたい自給率は、日本の電力エネルギーについて。19年はわずか12・1%の自給率で、OECD36カ国中、35位。20年は11・2%と減少しています。

日本の自給率

武庫川団地フレンド藩局副署 鄭 淳太



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

電力エネルギーをつくるための原料輸入の割合が高くなっていたところに、コロナ禍、ウクライナの有事により、原料である石炭、石油、天然ガスの輸入に障害が起き、私たちの生活にますます支障を来しています。

そして、人間が生きていくために必要な食料の自給率。最も基礎的な栄養価である熱量に着目した、カロリーベースの食料自給率は、21年は38%となっており、他の先進諸国と比べても日本はとても低いです。カロリーベースの食料自給率は、国民1人1日当たり供給している全品目の熱量の合計に占める国産の熱量の割合を計算したものです。

最後は、医薬品の製剤原料の自給率です。医薬品は海外依存度が高く、ジェネリック医薬品においては、全ての製造工程で国内生産できる品目は全体のわずか35%（18年）に過ぎません。国内での生産では、原材料費、設備費、人件費コストが高く、収益性が確保できないことから、諸外国に依存しています。調達先に何か起きればたちまち医薬品が手に入らなくなります。少なくとも重要な医薬品の原材料は日本で製造できるようにする必要があります。

諸問題解決のため、産学官の連携強化による、今後の日本の底力に期待します。

(第2680地区兵庫県甲子園RCにて、同RC会員)